

**次期総合計画・都市計画マスタープラン
大野中地区まちづくり会議報告書**

平成30年10月
大野中地区まちづくり会議

目 次

(課題と対応方策)

1	都市計画・都市整備	P 1
2	道路・交通	P 2
3	住環境・生活環境	P 3
4	自然・環境	P 4
5	産業・観光・商店街	P 5
6	【重点】安全・安心	P 5
7	健康・医療・福祉	P 6
8	【重点】教育・子育て	P 7
	会議経過	P 8

1 都市計画・都市整備

現状と課題

大野中地区では、昭和63年に古淵駅が開業され商業施設などが建ち並び、駅の利用者数も2万人を超え、地域のにぎわいを代表する街となりましたが、駅の持つ拠点性を生かすためには駅前広場が手狭であるなどの課題があります。

現在、「古淵駅周辺地区まちづくり協議会」において、駅周辺の地域特性を生かしたまちづくりなどについて検討が進められていますが、今後も駅周辺の有効活用策について検討する必要があります。

また、大野中地区には、まちづくりセンター及び連絡所（公民館含む）が3ヶ所設置されていますが、届出などの手続に制限があります。今後、様々な手続が一箇所で済む場所や体制の整備が求められています。

対応方策

- ・古淵駅前広場の整備や駅ビル建設などを含めた古淵駅周辺の再開発について検討する（市民・民間・行政）
- ・JR用地の活用について検討する（市民・民間・行政）
- ・公共施設の跡地利活用による施設の整備やまちづくりセンターと公民館などの複合化について検討する（市民・行政）



古淵駅前広場

2 道路・交通

現状と課題

大野中地区では、国道16号や市道淵野辺中和田などの慢性的な渋滞が発生していることから、日常生活に身近な住宅地内の道路が抜け道として利用され、相当の交通量になっています。

さらに、道路上に電柱があることや、歩道に段差があることで車いすやベビーカーが転倒するなどの危険な箇所もあることから、安全な道路環境を確保するための対策が求められています。

また、地域によっては、古淵駅や北里方面、大型店舗までの公共交通手段が少なく、交通環境の整備が必要となっています。

対応方策

- ・道路を拡幅整備する（行政）
- ・人、車が安全に安心して通行できる道路網を整備する（行政）
- ・歩道の段差解消の整備を進める（行政）
- ・大野中公民館の北側道路(市道淵野辺中和田)の更なる交通規制を検討する（市民・行政）
- ・交通不便地域のコミュニティバスの導入に向けた検討組織を立ち上げ、運行ルートも含め検討、協議する（市民・民間・行政）
- ・北里方面への新たな交通手段を検討する（行政）
- ・自転車専用レーンの設置を検討する（行政）



国道16号

3 住環境・生活環境

現状と課題

大野中地区では、高齢化や核家族化の進行などの影響により、空き家が増加しています。所有者と連絡が取れないことで、長期間に渡り植木が隣家や道路上にはみ出す状況が続いており、景観や防犯上の問題があります。

また、ごみ・資源集積所が道路上に設置されている場所では、歩行者や車両の通行に支障が出ていることから、その対策が求められています。

対応方策

- ・ 空き家の維持管理について、地域で検討する（市民・行政）
- ・ 空き家の状況を把握するため、日頃から不動産業者を含め近隣とコミュニケーションを図る（市民）
- ・ 空き家を、様々な世代が立ち寄れる場所として活用する（市民・行政）
- ・ 空き家の所有者へ連絡が取れる体制づくりを検討する（市民・行政）
- ・ 折りたたみ式のゴミ箱を設置する（市民・行政）

4 自然・環境

現状と課題

大野中地区では、近郊緑地特別保全地区に指定されている「木もれびの森」や境川、古淵鵜野森公園など、自然が豊かな地区となっています。

日頃から多くの方が自然に親しんでいますが、将来に渡っての保全や多目的な利活用についての検討が必要です。

対応方策

- ・ 木もれびの森の保全と利活用の検討や取組を継続して行う（市民・行政）
- ・ 境川沿いへのサイクリングロードの整備を検討する（行政）
- ・ 古淵鵜野森公園屋外水泳プールが老朽化しているため改修を行う（行政）



木もれびの森

5 産業・観光・商店街

現状と課題

大野中地区では、大型店舗出店の影響などで、身近な商店街の利用者が減少し、空き店舗が増加してきていることが問題となっています。

また、身近な商店街の店舗が減少したことで、店舗までの移動手段がない買い物弱者の課題もあり、商店街の活性化のほか、買い物環境の充実に向けた取組が必要となっています。

対応方策

- ・ 移動販売やインターネット販売を推進する（民間）
- ・ 空き店舗を希望者へ活用してもらう（市民・民間・行政）
- ・ ロボットの導入などによる無人店舗を検討する（民間）
- ・ 集客が見込める施設を誘致するなど古淵駅前の商店街活性化を検討する（市民・民間・行政）

6 【重点】安全・安心

現状と課題

大野中地区では、防犯灯のLED化や防犯カメラの設置などにより、防犯対策が図られていますが、住宅地を中心とした一層の防犯対策が求められています。さらに、大野中地区では3ヶ所に交番が設置されていますが、古淵駅前交番の所管区域が国道16号を越えた大野台地区の全域に及んでいることなどから、大野台地区へ交番を設置し、防犯対策を強化する必要があります。

また、大野中地区では、狭あい道路が多く、火事の際には小型消防車での消火活動となるため、早期の消火が難しい状況であり、防火水槽の整備などが課題となっています。

対応方策

- 大野台地区へ交番を設置する（市民・行政・その他）
- 防犯カメラや防犯灯の設置箇所を検討及び増設する。防犯カメラについては、設置費は行政、維持管理費は地域で負担する（市民・行政）
- ・ 防火水槽などの設置箇所を増やす（行政）

7 健康・医療・福祉

現状と課題

大野中地区では、自治会や民生委員を中心とした高齢者の見守り活動を行っていますが、個人情報の取扱いについて課題があり、高齢者の実情把握が難しい状況となっています。

また、大野中地区に小児科や耳鼻科などの医療機関が少ないことや救急車の不急の出動についても課題となっています。

対応方策

- ・ 地域での日頃からの繋がりを通じて、高齢者の見守りをする（市民）
- ・ 高齢者の実態把握時の個人情報の取扱いについて、規制緩和を含めた検討をする（市民・行政）
- ・ 病院への通院が困難な高齢者や小さな子どもを抱える世帯へタクシー券を配布する（行政）



【重点】8 教育・子育て

現状と課題

大野中地区では、子どもたちを地域で見守る活動を行っていますが、人的確保が困難であり、継続的な活動に支障があります。

また、子どもの遊び場が徐々に減少しており、公園などをはじめとした、子育て世代のための施設整備が必要となっています。

対応方策

- ・地域によって見守り隊の人員が不足しているため、自治会だけでなく広い範囲から募集し、人員を確保する（市民・行政）
 - ・日頃の声掛けや挨拶で見守りを充実させ、互いに顔見知りとなる（市民）
 - ・子育て世代のための施設や公園を整備する（行政）
- 小学校の空き教室の利活用や校庭の休日開放を検討する（行政）
- 子どもの遊び場として、子どもの広場の確保や広場などでボールを使って遊べるよう規制の緩和を検討するとともに、遊び方のルールについて周知する（市民・行政）



会議経過

日 程	会 議 内 容	委員出席数
平成30年 5月10日	第1回 ・地域の課題（良くなった・悪くなった点）の抽出	19名
6月7日	第2回 ・課題と対応方策検討	18名
7月5日	第3回 ・課題と対応方策検討	18名
9月6日	第4回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	14名
10月4日	第5回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	19名